

第129号

こんにちは

みささ議会です

令和4(2022)年

4月号



主な内容

- 令和4年度注目の事業 2～3
- 3月定例会・一般会計予算を可決... 4～5
- 常任委員会で慎重審査 6～7
- 議員6人が一般質問 8～14
- 議案の賛否 15
- 大好きみささ町 16

元気いっぱい新一年生
三朝小学校入学式(令和4年4月11日)

コロナ後の早期回復を目

令和4年度予算

前年度比 21.4%増

令和4年度 一般会計予算の特徴

- 当初予算で前年度比21.4%増の過去最高額67億3,800万円
- 投資的経費は、17億3,484万円。
新型コロナウイルス感染症対策に係る事業費は、1億2,116万円
- 主な事業は、小学校施設整備事業、三朝温泉誘客キャンペーン事業、町有償運送事業、日本遺産を活用した観光・産業振興 など

注目の事業 待望の小学校新校舎建設始まる

平成31年4月の小学校統合から3年を経て、いよいよ小学校の新校舎建設が令和4年秋頃から始まります。新校舎は、令和7年4月の開設を目指して三朝中学校敷地内に建設され、将来的には、中学校全

学年が1クラスになると見込まれる令和17年頃には、中学校機能を含めた小中学校施設一体型の校舎として活用される予定です。

校舎施設概要

- 構造 鉄筋コンクリート（RC）造 3階建て（一部2階建て）
- 校舎面積 6,840㎡
- 総事業費 3,858,601千円（校舎、プール、設計監理等含む）



校舎イメージ図

事業スケジュール

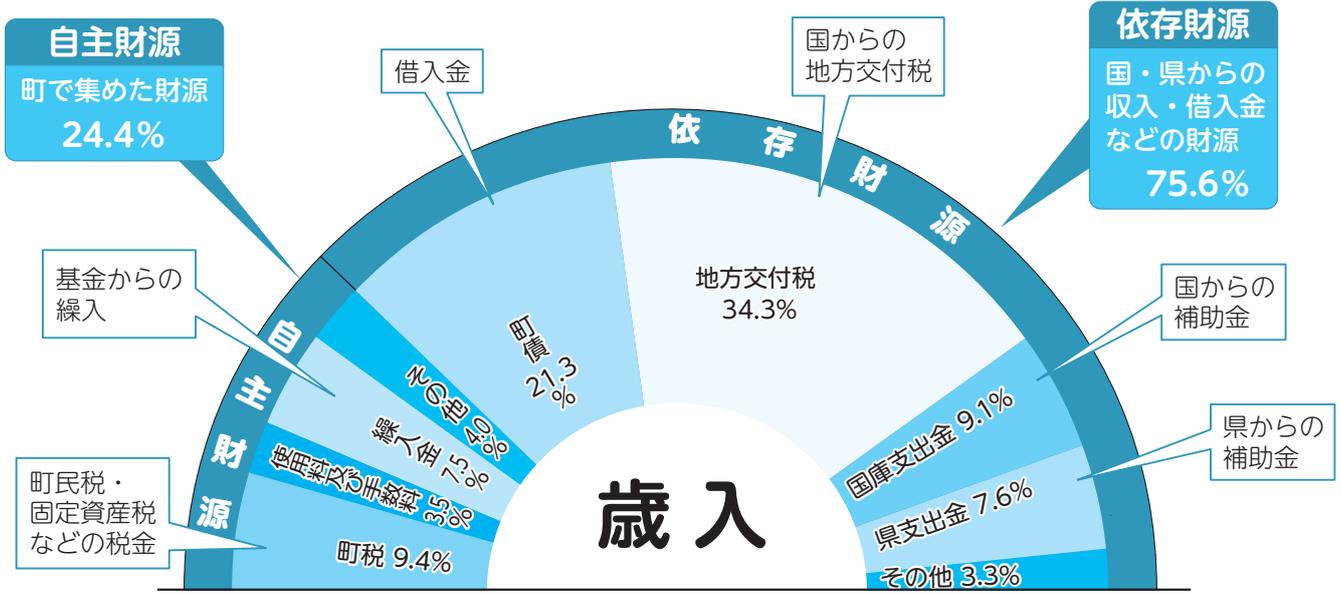
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
整備等の内容	工事開始		工事完成	
	◆三朝町立三朝小学校新築工事 教室棟・管理棟・プール関連 機械電気・情報設備・付帯工事・備品整備			準備
		■中学校 自転車置き場移設		
		■小学校 新校舎・外部倉庫建設		
		■トレーニングセンター 小学校屋内運動場に改修		
		■町民プール 解体後小学校プール建設		

指して過去最高額の予算

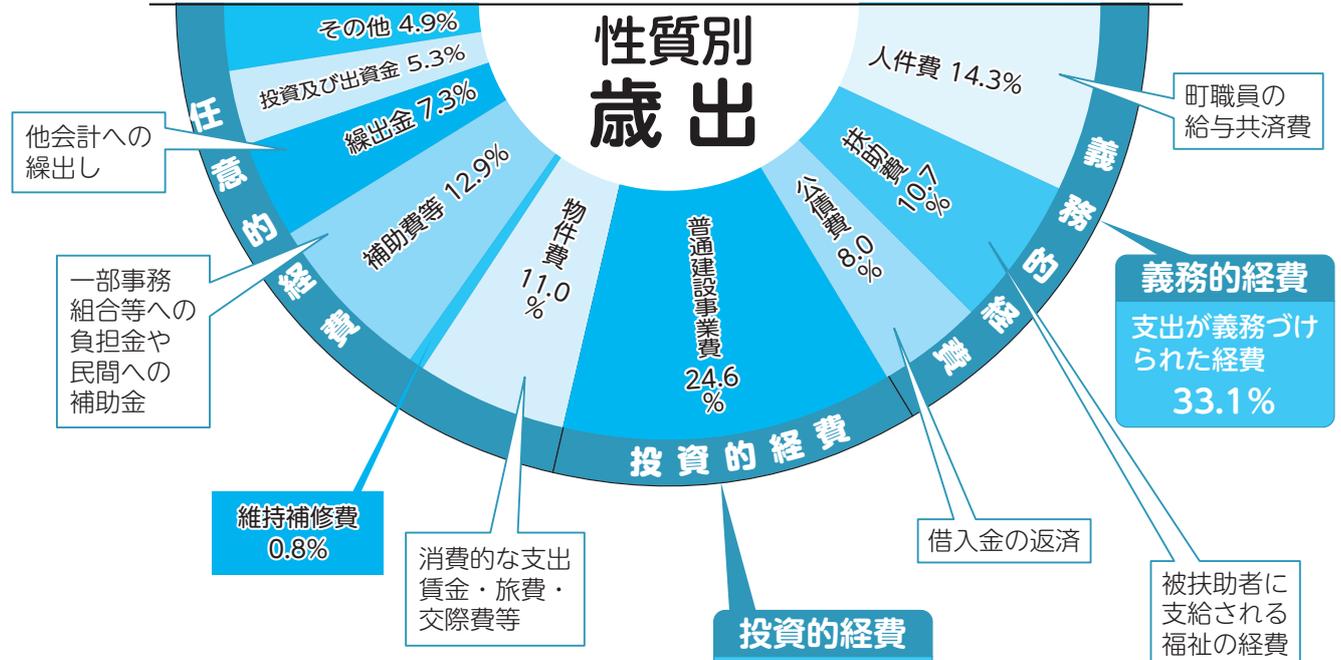
予算の内訳

昨年との比較

	4年度	3年度	増減額
地方交付税	23億1,000万円	21億6,000万円	1億5,000万円
町債(借入金)	14億3,830万円	6億9,420万円	7億4,410万円



一般会計 67億3,800万円



昨年との比較

	4年度	3年度	増減額
人件費	9億6,628万円	9億8,556万円	▲1,928万円
補助費等	8億6,832万円	8億2,133万円	4,699万円

令和4年度 一般会計予算を可決

一般会計予算審査特別委員会報告

3月15日に一般会計予算審査特別委員会（遠藤勝太郎委員長）を開催しました。この委員会は5名の委員で構成され、総務教育・産業民生常任委員会で審査した一般会計予算の内容を、さらに細かく審査するものです。その結果、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

町営住宅改修事業 3,567万円

意見

入居者が何年も無く、空き家状態の住宅がある。維持改修を継続するだけでなく廃止、新築等、長期的視点に立った計画が必要。住宅の払下げも積極的に進めるべき。

回答

平成31年度から、令和8年度までの10年間に期間とした三朝町営住宅等長寿命化計画を作成し、これに沿って修繕を実施。長寿命化による改修を行った場合、10年間は払下げができない。入居者には毎年、意向を問い合わせるが、土地の負担額が大きいなど、払下げを受けるのが難しい状況。



町営住宅改修の様子

三朝温泉誘客キャンペーン事業 7,200万円

意見

アフターコロナの三朝温泉の誘客増加に繋がる事業として、大きな予算を組み、多くの事業が計画されているが、どのような数値目標を掲げ、費用対効果を検証するのか。

回答

目標数値は、コロナ禍前の観光客数。インバウンドについて国内在住の外国人の誘客に展開を図りたい。国、県のイベントとの重複を避けて事業促進。年間を通して切れ目のない誘客促進に繋げたい。



三朝温泉イベント情報（2022年度版）

移住定住促進事業 1,240万円

意見

町内で育った若者への地域からの期待は大きく、若者を大切にすることが人口減少をくい止めることにつながる。町内に定住し続ける若者への支援策や補助事業以外の取り組みにも力を入れるべき。

回答

若者支援として、婚活支援、ハローワークとの連携による就労支援、子育て世代に補助金への子ども加算や三朝米を贈呈。ホームページでの情報発信や東京・大阪で開催される相談会で町の良さを積極的にPRしていく。進学等で町外に出ている若者へ定期的な広報紙、就労情報の提供を継続しUターンの促進につなげていく。

日本遺産を活用した事業全般 1,418万円

意見

日本遺産は、再認定され3年後に再審査だが、実質1年半で実績を出す必要がある。町民との温度差を無くし、全町的な取り組みに推し進める必要がある。日本遺産三徳山三朝温泉を守る会、活かす会、日本遺産活用推進協議会のそれぞれの活動をどのように展開していくのか。

回答

日本遺産の活用に関する部分は、観光交流課が担当。小・中学校、老人クラブ等の集まりに出向いて説明、理解を求める活動を行う。守る会は、保存・保護。活かす会は、観光誘客。それを両輪に推進協議会が全体を担う。県と合同でPTを立ち上げ、ハード、ソフトの両面での取り組み、官民共同で推進していく。



日本遺産推進協議会

森林管理システム事業費 956万円

意見

未整備林の所有者に対する意向調査業務を中部森林組合に委託しているが、森林資源の活用や適切な森林管理につながっているのか。積極的に所有者へ働きかけるなど、森林整備につながる事業検討が必要ではないか。

回答

木材の価値が下がっていることから、山に対する関心は薄れてきているが、災害防止の観点からも森林整備が必要であることを理解いただくように努めたい。

竹林整備地域活動支援金 94万円

意見

以前、この関連事業において竹の粉碎購入補助が行われたが、導入された機械が有効に活用されるように、実績の確認、指導が必要ではないか。

回答

竹の粉碎機は竹堆肥の土づくりを進めようと整備したもの。機械の管理は、グリーンサービスが行っており、適切に利用されるよう随時確認、指導していきたい。

三朝町空き家等撤去費助成事業 600万円

意見

空き家等の解体撤去費の助成金が増加。周知して確実に実施することが望まれる。解体撤去には、多額の費用が必要。補助率や補助の上限が適正か検証が必要ではないか。更地になった際の固定資産税の優遇措置があれば、より解体撤去を行いやすくなるのではないか。

回答

県内の約6割の市町村が、本町と同様の設定をしており、現時点では適正な補助率及び補助上限と判断している。固定資産税は国の税制度であり優遇措置はできない。

水田農業サポート事業 855万円

意見

グリーンサービスへの事業支援として機械整備に係る大きな助成が毎年行われている。

必要性、効果をその都度、検証見直しも必要ではないか。

回答

更なる水田受託面積の拡大と経営改善に向け、飼料作物の導入を計画しており、令和3年から5カ年で年次的に機械整備を進めている。毎年の取り組みを精査し、事業目的が達成できるよう協議を進めていきたい。

常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

旧小学校跡地の利用

問 旧東小学校と南小学校のグラウンドや体育館は、一般の人は使えるのか。

答 現在の利用状況としては、地域協議会の活動物品の保管やグラウンドの使用は許可しているが、一般の方は使用に関する規定がなく、お断りしている。

全国町村会災害対策費用保険

問 町村会の災害対策費用保険について災害時に年間を通して、どのくらいの金額が、保障されるのか。

答 1回につき100万円が限度額であり、年間で500万円となる。

人権啓発番組の作成・放映

問 NCNで放送している中学生の人権劇について、令和4年度も製作するのか。

答 11月から1月までの3か月、1日3回放映した。令和4年度も中学生が作成する。



旧南小学校跡地

ブロック塀改修事業補助金

問 ブロック塀撤去補助金は、何件残っているのか。

答 県の改善指導件数は29件。うち15件が撤去・改修済。県が定める是正措置期間は、令和4年度まで。

AED 設置事業

問 AEDについて。各部落、公共施設、消防車庫に置いてあるが、バッテリーの点検は誰がしているのか。年に1回でも講習会を開いて誰でも使えるようにしてほしい。

答 バッテリー点検は、リース業者がしている。交換が必要な場合は、リースの予算内で交換している。講習は、コロナで行えていない。

介護施設の利用について

問 高齢化社会になって、介護施設を利用したい人が増えている状況。ベッド数の空きがあるのか。町民が倉吉の施設を利用できるのか。

答 三喜苑の入所は、要介護3以上の優先順位が上位の方から入所できる。町外の施設は、地域密着型（グループホームなど）以外の施設であれば、金額の違いはあれど、住所に関係なく、入所することができる。



各施設に設置されている AED

産業民生常任委員会

町民税見込み増加の理由は

問 コロナ禍で収入等が減っている中、前年度と比較して新年度の町民税が全体的に増えているのはなぜか。

答 前年度は、コロナ禍の影響で税収を低く見ていたが、新年度は徐々に景気が回復すると想定し固定資産税、入湯税等の増加を見込んでいる。

キャッシュレス決済導入事業

問 キャッシュレス決済の端末を役場窓口に設置することのだが、町税や住民票などの支払いに対応できるのか。

答 クレジットカードを始めスマートフォンでのQRコード決済ができるようになり、コンビニ納付と同様に町税や手数料の支払いが可能になる。

ふるさと納税の状況は

問 コロナ禍の巣ごもり需要の影響で件数や金額が増えてきているとのことだが、返礼品で多いものは何か。

答 1番多いのは旅館利用券、2番目に梨、3番目にドライフルーツ、以下は猪肉、米などである。



ふるさと納税
返礼品カタログ

日本遺産の推進体制について

問 日本遺産関連の補助金が多く出ているが担当課の分担はどのようなものか。

答 観光や活用に関する事業は、日本遺産活用推進協議会の事務局である観光交流課が担当し、文化財の保存や保護の部分は社会教育課の方で予算化している。

景観計画策定事業とは

問 景観計画策定事業とはどんなことをするのか。

答 本町は、景観法に定める景観行政団体になっていることから、町内の優れた景観保全と景観意識の啓発、さらに景観を観光資源として作り上げていくような景観計画を策定していきたい。

コロナ禍における光化見守りサービス実証事業

問 光ケーブルの通信網を活用するようだが具体的内容は。

答 両親などの健康状態を遠隔地でも確認できるよういくつかの見守りサービスを、20世代対象に10か月程度試行的に実施しようと考えている。

神倉大豆について

問 神倉大豆の在庫が多くあると聞いているがどうなのか。

答 大粒は納豆などの販売が好調だが、中粒の在庫があるようだ。味噌やひきわり納豆、お菓子の活用など農協と一緒に検討していきたい。

鳥獣被害総合対策事業

問 捕獲実績がイノシシよりシカの方が多くなっているが、防護柵のシカ対応はどうしているのか。

答 既設したイノシシ用の柵の上部にワイヤーメッシュや電気柵を継ぎ足する方法も補助対象になっており、農家に活用を呼びかけている。



シカ対策防護柵

地域共同施設維持管理支援事業

問 自治会等で管理している生活道や用水路の修繕等に必要な経費を支給とあるが、全額支給されるのか。

答 令和元年度から制度化しているもので、機械の借上げ料や原材料について10万円を限度に10/10で支給するもの。該当があれば事前に申請してもらいたい。

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

あなたの声を 町政に

6人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 図書館のあり方と今後の課題	吉村美穂子
10	1. 日本遺産再認定と今後について 2. 町民の温泉活用による健康増進について一試案	山口 博
11	1. 「小さな拠点づくり」の促進事業について 2. 旧小学校校舎等、町有財産の活用について	松原 成利
12	1. 三朝町における人口動向	能見 貞明
13	1. 本町の農業の取組	遠藤勝太郎
14	1. 明るい家庭を築くために	森 貴美子

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。
(10:00～、18:00～)

図書館

問 町民にとって身近で魅力ある図書館は

答 生涯学習の拠点としての役立つ図書館

三朝町にとって魅力ある図書館は

吉村

移住、定住の決め手ともなる三朝町にとって魅力ある図書館の位置づけを伺う。

教育長

生涯学習の拠点として学びの場、子育ての場、交流の場、情報発信の場。子どもたちが夢と希望を持ち、その実現に向かって豊かな人生を過ごしてくれることを応援し続ける図書館と考える。

吉村

日本遺産、世界遺産などの資料充実をはかり、特色ある三朝の図書館作りを期待する。

司書を正規職員として配置を

吉村

異動のない正規職員の司書は、将来を見据えて図書館の基本計画、事業計画、予算計画を立てられる。長期に渡る図書館サービスのためにも専門職としての司書を正規職員として配置してはどうか。

町長

現在は、有資格者1名(会計年度任用職員)。他の職員も図書館運営の能力は持っている。司書資格を持つ職員にも行政の様々な分野を経験させ、正規職員の配置については限られた定数の中で心がけていく。

図書費の増額を

吉村

公共図書館の設置及び望ましい基準によると、資料費900万円に対し、町は約350万円。幅広い利用者のニーズに応えるために図書費の増額をしては。

町長

平成2年開館以来、図書の充実に努め、令和4年1月末蔵書10万6,000冊。貸出し累計冊数333万冊を記録し、同人口規模の図書館と比較して充実している。目標とした蔵書冊数に達してからはペースを落としているが、利用者のニーズに応えるための整備に努める。

吉村

雑誌スポンサー制度を活用して欲しい。



町立みささ図書館



吉村美穂子 議員

図書館でのお話し会開催を

吉村

子どもが本に関心を持つため、図書館での定期的お話し会を開催してはどうか。

教育長

保育園、こども園、学校あるいは、バイオリン美術館において開催。ブックスタート、ブックセカンド、小中学生の読書感想文コンテストなど、子どもたちの読書活動に力を入れている。

吉村

お話し勉強会、読み聞かせ勉強会などを開催し、ボランティアを養成して、図書館ならではの、家族で参加できるお話し会の開催を願う。



貸出累計冊数333万冊を達成

問 日本遺産再認定後の取り組みは

答 県・町民を含めた広域的な取り組みで認定の継続を

今回再審査・再認定となったことへの反省を

山口

認定後月日が経って日本遺産に認定された当時の意識や取り組みが弱くなったことで再審査となったことへの反省を。

町長

再審査で指摘された課題の分析や改善策、ビジョンの明確化が不十分であったこと、守る会の推進体制が脆弱であったとの指摘を改善し、再認定となった。

3年後の再認定に向けては地元町民にも分かりやすい取り組みが必要

山口

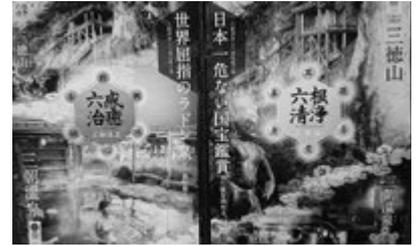
今後再認定に向けて町民の協力は必要であり、再審査のために作成した地域活性化計画は町民に分かり難いので概要版の作成等を検討しては。町民に向けてきめ細かな情報提供も必要だ。

町長

地域活性化計画は分かり難いので、誰が読んでもストーリーが分かるコンパクトで、観光にも使えるような概要版も検討したい。



山口 博 議員



日本遺産ポスター

問 温泉の積極利用で全町民の健康増進を

答 町民が日常的に温泉を利用できる施設を検討

町民が安価で継続的に温泉を利用できる町民湯治を

山口

健康増進のためには、多くの町民が継続的に温泉の恩恵を享受できる施策が必要であり、入浴券配布等により町民湯治のような積極的な施策が必要だ。

町長

温泉を活用した健康まちづくり事業として、健康増進プログラム計画や必要となる施設について構想づくりの予算を計上している。

温泉や自然環境、食文化など、三朝町ならではの資源を活用し、医療と連携で三朝町の特徴を活かした健康増進事業を推進していく。

町民が日常的に利用できる施設構想

山口

毎日温泉を利用している町民は限られており、多くの町民が継続的に安価で温泉を利用できる方策が必要だ。

町長

日常的に町民が温泉を利用できる施設が町には必要ではないかと思っている。改めて事業として検討していきたい。



すーは一温泉

政策

問 「小さな拠点づくり」の促進事業

答 地域の皆さんと一緒に考えたい

「小さな拠点づくり」の取り組みを

松原

「スーパーがない、バスも車も走っていない、町に人がいない。」との島根県のCM放送があるが、県の制度「暮らしを守る仕組み(小さな拠点)づくり促進事業費補助金」を活用し取り組むべきではないか。

町長

地域協議会制度を基盤に自由度の高いパワーアップ交付金を活用して取り組むべきで、特定の課題には県の補助制度活用の余地もある。

居住地と農地等のすみ分けの思いは

松原

以前、大瀬や本泉、今泉辺りに住んで、出身集落の農地等に車で通うのはどうかと話されたが同じ思いか。

町長

そういう生活の仕方は、奥部出身の方が住いから実家の田んぼに通われている例を紹介したもの。

指導者づくりにも取り組むべき

松原

地域課題に住民自ら話し合い取り組む足がかりに、本町が人材を選任し、補助金を活用して町おこし協力隊のような指導者づくりをするべきではないか。



松原 成利 議員

町長

専門知識を有する人から学ぶなど、育成の部分で地域自らが補助金活用するのが正しい。リードしていく人材は集落から作り、町や地域協議会はサポートし、職員はいつでも相談に応じる体制。



地域の拠点の一つ 三徳センター

町長

(株)ジーライオンとは施設譲渡交渉をしているが判断する時期が悪く、指定管理の1年間継続となった。

無償譲渡にも柔軟対応すべき

松原

どの施設も新規参入や事業継続による活用が重要であり、無償譲渡等にも柔軟対応すべき。

町長

有効活用が大前提で、無償譲渡は安易な撤退にもなりかねず案件ごとに調査し判断したい。

政策

問 旧小学校校舎等の町有財産の活用

答 情報発信を続け活用につなげたい

旧小学校空き施設の計画は

松原

小学校統合により普通財産となって満3年になる旧小学校施設の利用は未定だが、今後の見通しを聞きたい。

町長

三朝小学校跡地施設等利用検討委員会の提言に基づき、一括売却による民間企業の活用を基本に

ホームページに情報掲載しており、問い合わせや興味深い提言はある。10年間で吟味し活用に結びつけたい。

ブランナールみささの今後は

松原

指定管理期間が満了する「ブランナールみささ」は、今後どのように対応するのか。

人口

問 三朝町における人口動向

答 人口対策、地域づくりの会の設置

2040年問題を踏まえた人口対策を

能見

過去10年間で年平均約100人の人口が減少している。このままで行くと2040年には三朝町は消滅の危機にある。これは重大な問題である。

町長

この問題については重大なことだと認識しており、町が策定している総合戦略で町の人口ビジョンにおいて2040年の推計値は5,010人としている。

これまでと同じような取り組みでは人口減少は止まらないのでは

能見

三朝町過疎地域持続的発展計画で三朝町の人口ビジョンに基づき、出産数の維持、若年層の転入促進、交流人口の維持とあるが、これまでと同じような施策では人口減少は止まらないのではないかと。

町長

いろんな支援の中で継続をしていながら人口減少を緩和、2040年には人口5,000人規模の町を設定している。時代に合った移住対策、定住対策、外に出た人が戻って来てもらう施策とかを考えていく必要がある。

三朝町も町長が主導で人口対策に取り組んでいかなければ

能見

全国的に人口が減少している中、私が視察した島根県邑南町では町長が先頭に立って人口減少問題に取り組んでいる。わが三朝町も町長主導で取り組んでもらいたい。

町長

邑南町の町長は立派な町長ですが、三朝町は5年や10年ではそういう形はなかなか難しいとは思いますが、見習って人口対策に取り組んでいきたい。

1、Uターン者、若者、移住定住者に専用住宅を設置しては

能見

1、Uターン、若者、移住定住者に専用住宅を設置し年齢条件を定めて例えば46歳以下、または5年以上居住するものとかで若い人に住んでもらう政策をしたらどうか。



能見 貞明 議員

町長

それも一つの方法だと思う。一戸建てとか集合住宅、そういうことも検討材料として考えていきたい。

町の皆さんが三朝町の将来を話し合う場所（ワーキンググループ）の設置

能見

町民によるワーキンググループを設置し、女性も入ってもらい、一緒になって三朝町の将来、人口減少について話し合う場所の立ち上げはどうか。

町長

人口対策、地域づくりといった会を作れたらと思っている。今年度集落の意識調査をするように進めていくので、次の展開につながるようになればと思う。



率先して人口対策の取り組みを（みささこども園）

農業

問 本町の農業の取組

答 総合的な対策が必要

米価下落、農家支援

遠藤

観光施設や飲食店など大幅な米の需要減少が続き、米価が下落する中、県下では10a当り7,500円から1万円の支給助成が決まった町がある。本町のような米主体の農業にあっては、真っ先に支援に取り組むべきではないか。

町長

緊急的な米価下落に対する支援だけでなく、他作目転換への支援など総合的な対策が必要。

特別栽培米

遠藤

付加価値を付けた商品にもかかわらず、所得向上につながっていない。今後の方向性と販路拡大は。

町長

県、JAと連携し、がんばる地域プラン活用、特選米のブランド化や販路拡大に取り組んできたが、所得向上に至っていない。ふるさと納税や商店等と連携しながら販路拡大に取り組んでいく。



三朝町産こしひかり

グリーンサービス貸借契約

遠藤

町内農地保全を目的とされた会社が農地をより好みしている。設立の目的から離れ、採算だけを考えた設定と思われるが。

町長

集落協定の農地で対応するのは正しい選択。グリーンサービスとして収益を確保していくのは当然な会社としての対応。今後5年間の事業改善計画に取り組んでおられ、地域農家と役割分担しながら農地保全、荒廃農地解消に努めたい。

神倉大豆・ブロッコリー（特産品）

遠藤

令和3年からブロッコリーの栽培が始まった。どのような形で助成しながら作付面積を伸ばしていくのか。また、獣害対策は。

町長

産地形成に向け、機械設備の助成支援は必要。5年後の2ha作付に向け支援しながら進める。鹿用防護柵の新設とイノシシ用として既に設置してある防護柵の機能アップを図る。



ブロッコリーの作付



遠藤勝太郎 議員

遠藤

神倉大豆への転作は。

町長

令和4年度作付面積で3年度と比較して増加した生産農家に対して、種子代の一部を支援する(3,000円/10a)。

地域おこし協力隊

遠藤

2年間予算計上されながら実現ならず、本町農業を考える上で重要な役割を担っていると思うが、町単独の追加措置をしてでも探す考えはないか。

町長

地域おこし協力隊の必要性は重々感じている。色々な角度で常に募集だけはかけていく。

問 明るい家庭を築くための学びの場を

答 生涯学習の一つとしての取り組み

離婚率の増加に歯止めを

森

日本の離婚率は、現在3割、3組のうち1組が離婚している。2018年に厚生労働省が発表した都道府県別離婚率ランキングでは、鳥取県の離婚率は33.7%、全国で37位。三朝町に住んで27年目になるが、私の知っている範囲で毎年、離婚されている家庭がある。

結婚は、幸せな家庭を築いていくものであると同時に、住んでいる地域や社会を支えていく土台となるもの。

しかし、大切な結婚について誰に教わることもなく、個人に委ねられている現実がある。

人口減少が進む中、町長は三朝町においても多くの離婚がある現状をどうお考えになりますか。

町長

家庭は人が心豊かに健やかに生活していくための大切な土台である。家庭が円満で支え合いながら生活していくことは大切である。しかしながら、離婚には、それぞれの価値観や性格の不一致など様々な要因がある。行政が立ち入りにくい個人の価値観やプライベートな問題であることから町ができることは限られている。町民の皆様のニーズを踏まえながら、生活に役立つこと、関心のあることについて学んでいく機会を提供したい。



森 貴美子 議員

円満な家庭づくりの講演会や勉強会の開催を

森

国が採択した米子市の政策案「結婚から子育て応援ブック」は、結婚、出産、育児の専門の先生方の10回にわたる講演内容をまとめてあり、学ぶべきことが多く参考になる。『幸せ夫婦になるポイント』や、『夫の言い分・妻の言い分』などを学ぶ、吉岡愛和先生著『夫婦関係を見直すセルフ・カウンセリング』のような勉強会の定期的な開催を提案したい。

町長

子育てに関しても、明るい家庭を築くということも、町の人が笑顔で暮らすことにつながる。時間はかかるが、町の総合計画を遂行する上でも大事なことだと思う。参考にして生涯学習を進めていきたい。



米子市等の資料



明るい家庭を築くために

【議案に対する賛否】

議案番号	議員名（議席順） 議案名	森 貴美子	小 椋 泰志	河 村 明浩	吉 村 美穂子	松 原 成利	松 原 茂隆	能 見 貞明	石 田 恭二	山 口 博	藤 井 克孝	遠 藤 勝太郎	吉 田 道明	結 果
(1月臨時会)														
町長提出議案名														
1	令和3年度三朝町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	△	可決
2	令和3年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	△	可決
3	工事請負契約の締結について（三朝町住民ネットワーク光化事業旧設備撤去工事）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	△	可決
(3月定例会)														
町長提出議案名														
4	令和4年度三朝町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
5~14	令和4年度三朝町特別会計予算（10件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
15	三朝町町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
16	三朝町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
17	三朝町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
18	三朝町地域公共交通協議会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
19	三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
20	三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
21	三朝町国民宿舎プランナルみささの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
22	三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
23	三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
24	三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
25	三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
26	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
27	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
28	令和3年度三朝町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
29~35	令和3年度三朝町特別会計補正予算（7件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
36	三朝町犯罪被害者等支援条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
37	三朝町行政組織条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
38	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	同意
諮1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	適任
議員提出議案名														
議1	ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
議2	保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。
 ※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 3月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情	鳥取県の保育を考える会	採択 意見書提出	コロナ禍における安心・安全な保育環境の維持や保育人材の確保のため、処遇の抜本的改善が必要。
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	鳥取県労働組合総連合	趣旨採択	都市部と地方の経済格差は大きく、全国一律の制度では地方中小企業の圧迫等が懸念される。

今、僕たちにできること

現在、中部地区でも新型コロナウイルス感染者が少しずつですが、減少しています。みんなが安心して暮らせる三朝町にするために、感染症対策をしながら生活することが大切だと思います。

今、僕たち中学生は、学校で次の2つのことを大事にしています。

1つめは、感染症対策を今まで以上に意識して、学習や普段の生活をしています。三密を避け、不要不急の外出を控えるようにしています。また、保健委員会が具体的な行動を呼びかけるポスターを作り、校内に掲示しています。

2つめは、人権学習で学んだことを行動すること

です。感染者やその家族に対して、差別的な発言や行動は絶対にしてはいけません。誰もが感染する可能性があるので、自分のこととして考え、相手の立場になり、自分の言動を振り返るようにしています。また、自分自身では気づかないこともあるので、お互いに注意できるような関係性を作っています。

僕の大好きな三朝町で、あらゆる人の関係がよくなるように、これからも感染症対策や差別を許さない気持ちを大切にしていきたいと思います。



三朝中学校3年
松原 勇気

広域連合議会議員の選出

鳥取中部ふるさと広域連合規約の一部改正に伴い、本町議会から合計2名を広域連合議会議員として選出することが必要となりました。1名は昨年すでに選出されていますが、もう1名を2月21日の第2回三朝町議会臨時会において選出しましたので、その結果を報告します。

鳥取中部ふるさと広域連合 議会議員 松原 茂隆

議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは**議会事務局（電話43-3511）**にお問い合わせください。

6月定例会の日程予定（案）

会期 6月9日～6月17日
（9日間）

※日程は変更になる場合があります。

※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

<お知らせ> 議会懇談会について

本町議会では、従来の「議会報告会」を「議会懇談会」と改め、テーマを決めて自由に意見交換できるものとし、各地域において開催したいと考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないため、当面の間中止とさせていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。

発行責任者
議長 吉田 道明
編集 議会広報常任委員会
委員長 小椋 泰志
副委員長 森 貴美子
委員 松原 茂隆
委員 吉村 美穂子
委員 河村 明浩

(吉村 美穂子 記)

子ども達が幸せである事は、我々大人と、社会の願いです。子ども達が、安心して、美しく、正しく成長できるように見守っていきたいものです。

令和4年度から、小学校建設の着工が始まります。教育が人をつくり、人が町をつくり、人材育成のための学校は、これからの町づくりの礎となるでしょう。

今、国内外での紛争や災害の様子を見てみると、当たり前前に過ごしている日々の生活が、実は当たり前前ではない事だと気付かされます。

今、国内外での紛争や災害の様子を見てみると、当たり前前に過ごしている日々の生活が、実は当たり前前ではない事だと気付かされます。

古来より誰もが求めてきた幸せは、個人のものと考えられがちです。しかし、同時に社会の幸せを考える事が、回りまわって個人の幸せに繋がるはずなんです。

